

## 西東京市第3次総合計画 基本理念（案）

### 【案1】

## ともにみらいにつなぐ やさしさといこいのまち 西東京

2000年の合併以降、第1次基本構想および第2次基本構想において、「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」を基本理念として掲げ、まちづくりを進めてきました。基本理念に込められてきた、お互いを思いやり尊重する「やさしさ」や人と人との「ふれあい」は、合併から20年が経過したいま、確実に息づき、育まれてきています。

これからの西東京市に暮らすわたしたちは、これまで大切にしてきた「やさしさ」や「ふれあい」を継承しつつ、西東京市らしさを生み出す要素でもある、身近に残る豊かな自然環境や安らぎを感じられる落ち着いた住環境を次世代に引き継ぎ、誰もが住み続けたいと思える西東京市であってほしいと願います。また、そのために、わたしたち一人ひとりが、西東京市の未来を「自分ごと」として捉え、主体的にまちづくりに関わっていく必要があると考えています。

このような思いから、第3次基本構想においては、「**ともにみらいにつなぐ やさしさといこいのまち 西東京**」をわたしたちの望みとして、基本理念に掲げます。

### 「ともにみらいにつなぐ」

「ともに」は、まちづくりに関わる様々な主体が、手を携えて協力している様子を表しています。個の思いや力だけでなく、それぞれの立場や経験を活かし、連携・協働することで、より多様な課題に対応していくことができます。

「みらいにつなぐ」は、これまで守り育んできた西東京市の良さを次世代に残していくことに加えて、未来の西東京市に向けた取組みを積み重ね、次代を担う子どもたちに、まちづくりのバトンとして渡していくことを表しています。

### 「やさしさといこいのまち」

「やさしさ」には、多様性を受け入れる寛容さや思いやり、つながりから生まれる助け合いや支え合いなど、人の優しさや温かさだけでなく、環境への配慮や持続可能性の意味も込められています。

「いこい」は、市の中心部に位置する西東京いこいの森公園やマスコットキャラクター「いこいな」など、市民にとって親しみのある言葉です。都心に近いながらも緑が多く残る環境や落ち着いた住環境など、体や心が休まり、人々の交流が生まれるくつろぎの場が身近にあることを表しています。

## 【案2】

### ともにはぐくむ 深呼吸したくなるまち 西東京

第1次基本構想および第2次基本構想では、「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」を基本理念として掲げ、まちづくりを進めてきました。お互いを思いやり尊重する「やさしさ」や人と人との「ふれあい」は、合併からの20年間で、確実に息づき、育まれてきています。

いま、少子高齢化や地球規模での気候変動、新型コロナウイルス感染症などによる新たな生活様式など、社会状況はめまぐるしく変わりつつあり、わたしたちが暮らす西東京市もその流れにあわせて、変化に適応していく必要があります。一方で、いかなるときも変わらない、確固たる思いを持ち、まちづくりを進めていくことも重要です。

第3次基本構想を策定するにあたり、これからの西東京市を担う若い世代を中心に、様々な市民参加の場を設けて、これからの10年間のまちづくりを進める上での道標(みちしるべ)となる声を聞いてきました。そこでは、今ある西東京市の良さを守り育てていきたい、誰もが自分らしく安心して過ごせるまちであってほしい、といった思いが多く語られました。また、一人ひとりが、西東京市の未来を「自分ごと」として捉え、主体的にまちづくりに関わっていく必要があると考えています。

このような思いから、第3次基本構想においては、「ともにはぐくむ 深呼吸したくなるまち 西東京」をわたしたちの望みとして、基本理念に掲げます。

#### 「ともにはぐくむ」

「ともに」は、まちづくりに関わる様々な主体が、手を携えて協力している様子を表しています。個の思いや力だけでなく、それぞれの立場や経験を活かし、連携・協働することで、より多様な課題に対応していくことができます。

「はぐくむ」は、深い愛情を持って、大切に育てていく様子を表しています。多様な主体が思いを共有し、子どもたちの夢を、人々とのふれあいを、西東京市の未来をはぐくんでいくことを示しています。

#### 「深呼吸したくなるまち」

「深呼吸」は、ほっと安心できる状態、居心地が良い場所でくつろいでいる状態、美しい風景や豊かな自然に触れている状態などをイメージしています。仕事から帰って来た時にほっとするまち、居心地の良い空間で自分らしくいられるまち、大人になってふるさとを感じられるまちなど、一人ひとりが思う「深呼吸」をふとしたくなるようなまちを表しています。

## 【案3】

### ともにみらいへ つながりといこいのまち 西東京

第1次基本構想および第2次基本構想では、「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」を基本理念として掲げ、まちづくりを進めてきました。お互いを思いやり尊重する「やさしさ」や人と人との「ふれあい」は、合併からの20年間で、確実に息づき、育まれてきています。

西東京市を取り巻く社会情勢がめまぐるしく変わりつつある中、第3次基本構想を策定するにあたり、これからの西東京市を担う若い世代を含めた様々な世代から、誰もが住み続けたいと思える西東京市であるためには、今ある身近な自然環境や豊かなみどり、落ち着いた住環境などの西東京市らしさを残していきたい、ゆるやかなつながりの中で安心して過ごせるまちであってほしい、といった思いが多く語られました。また、そういった思いを実現していくためには、わたしたち一人ひとりが、西東京市の未来を「自分ごと」として捉え、主体的にまちづくりに関わっていく必要があると考えています。

このような思いから、第3次基本構想においては、「ともにみらいへ つながりといこいのまち 西東京」をわたしたちの望みとして、基本理念に掲げます。

#### 「ともにみらいへ」

「ともに」は、まちづくりに関わる様々な主体が、手を携えて協力している様子を表しています。個の思いや力だけでなく、それぞれの立場や経験を活かし、連携・協働することで、より多様な課題に対応していくことができます。

「みらいへ」は、これまで守り育んできた西東京市の良さを次世代に残していくことに加えて、未来の西東京市に向けた取組みを積み重ねていくことを表しています。

#### 「つながりといこいのまち」

「つながり」は、人と人とのつながり、人と地域とのつながり、次世代へのつながりなど、様々な意味が込められています。多様性を受け入れる寛容さや思いやり、つながりから生まれる助け合いや支え合いなどの人の優しさや温かさだけでなく、環境への配慮や持続可能性など次世代に向けた取組みを、次代を担う子どもたちにつないでいく思いを表しています。

「いこい」は、市の中心部に位置する西東京いこいの森公園やマスコットキャラクター「いこいな」など、市民にとって親しみのある言葉です。都心に近いながらも緑が多く残る環境や落ち着いた住環境など、体や心が休まり、人々の交流が生まれるくつろぎの場が身近にあることを表しています。